

全国保健師長会代議員総会
シンポジウム
地域コーディネーター実践例
～糖尿病対策～



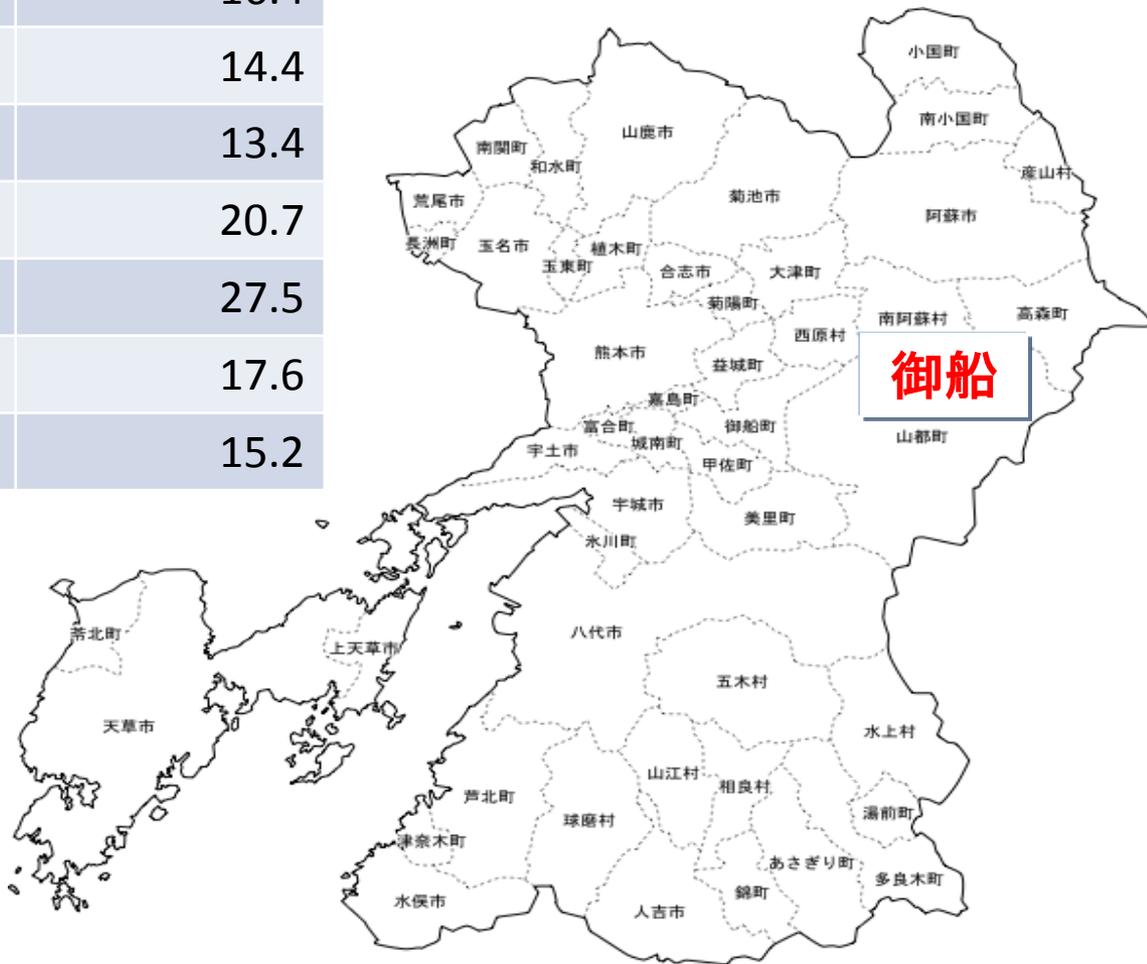
熊本県御船保健所
岡 順子



健やか生活習慣くまもと県民運動キャラクター
「ASO坊健太くん」

熊本県御船保健所管内の概要

	人口	高齢化率	後期高齢化率
御船町	17,447	30.6	16.4
嘉島町	8,959	25.8	14.4
益城町	33,386	25.9	13.4
甲佐町	10,926	35.6	20.7
山都町	15,378	43.8	27.5
管内計	86,096	31.3	17.6
県	1,794,623	28.0	15.2



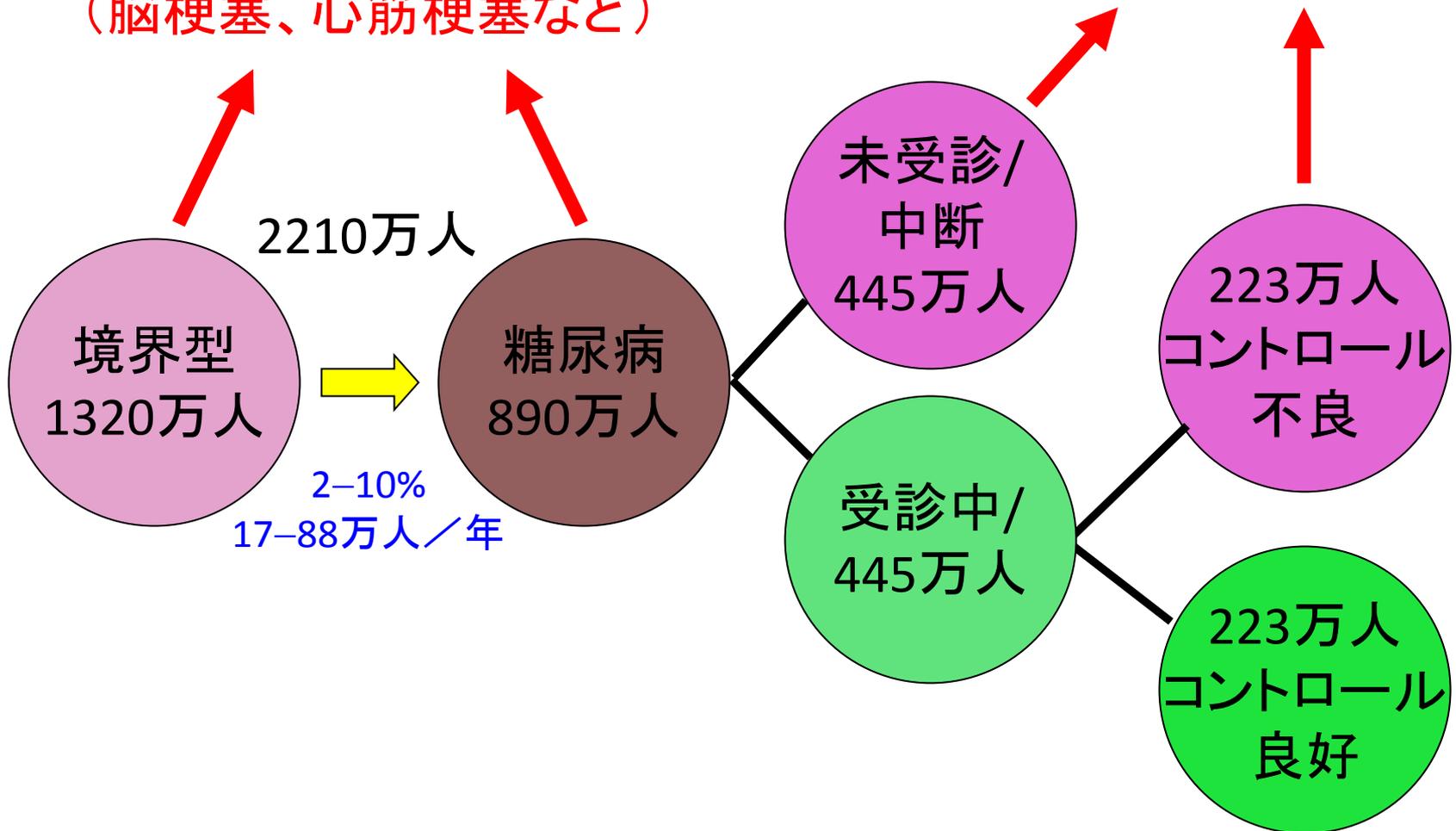
日本における糖尿病診療の現状

動脈硬化症

(脳梗塞、心筋梗塞など)

糖尿病合併症

(失明、人工透析など)



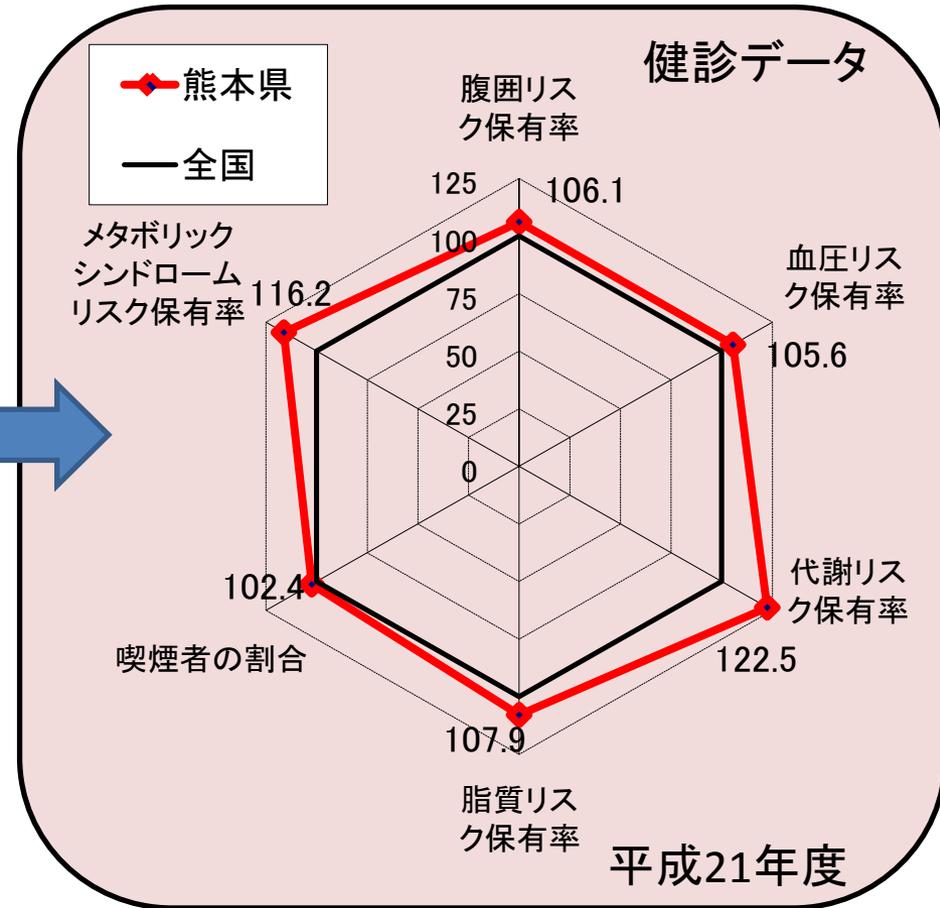
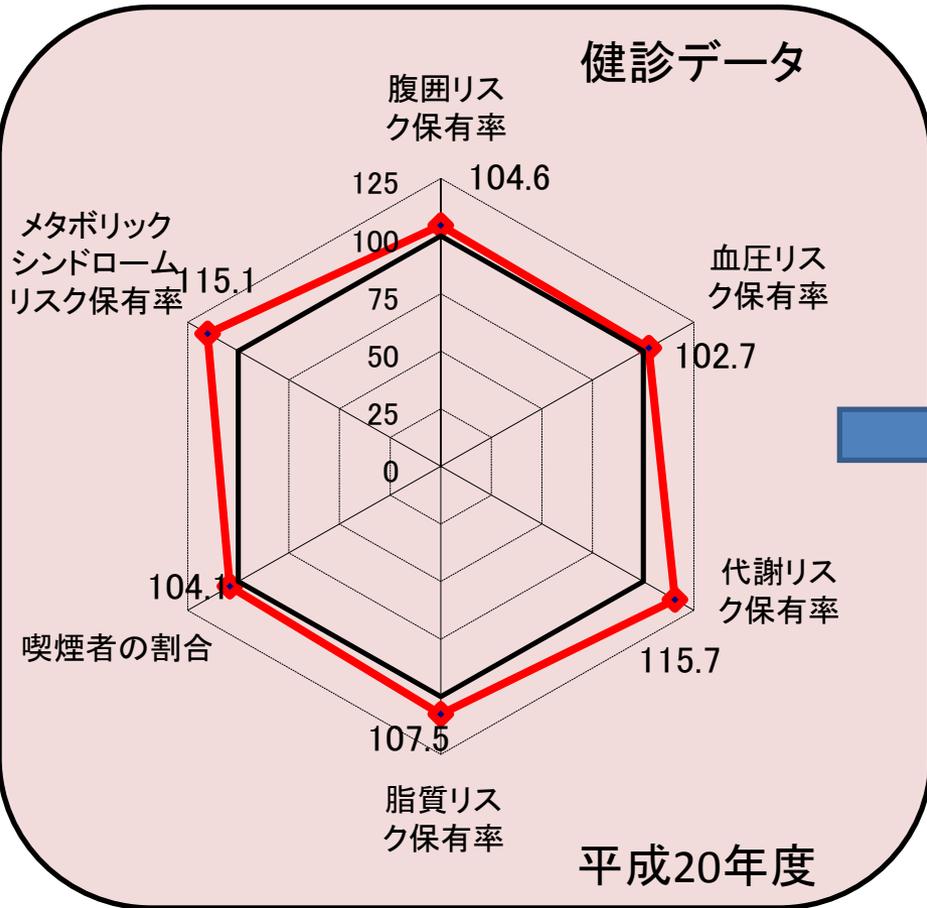
熊本県における糖代謝異常の推定患者数

(20歳以上)

	熊本県	全国
糖尿病予備群 (5.6%以上6.1%未満)	23.8万人 (16.2%) ↑	1050万人 (11.9%)
糖尿病有病者 (HbA1c 6.1%以上)	14.1万人 (9.6%)	820万人 (9.8%)
合計	37.9万人 (25.8%) ↑	1870万人 (21.7%)
人口 (20歳以上)	147万人	1億400万人

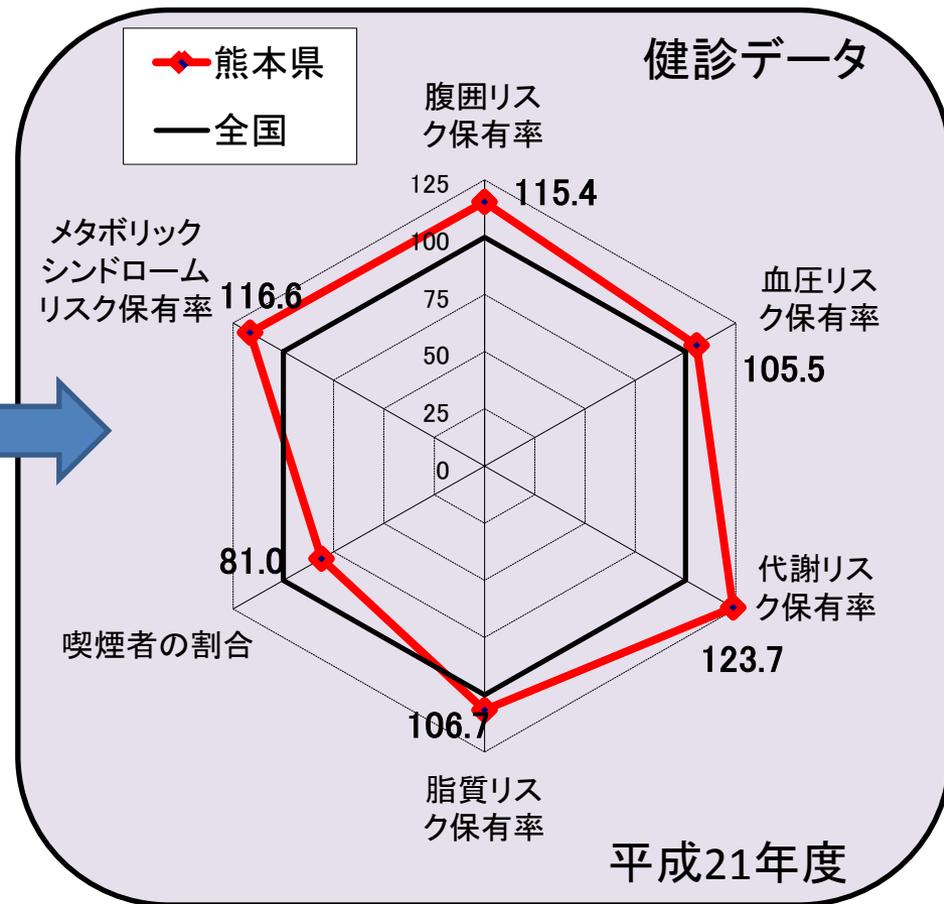
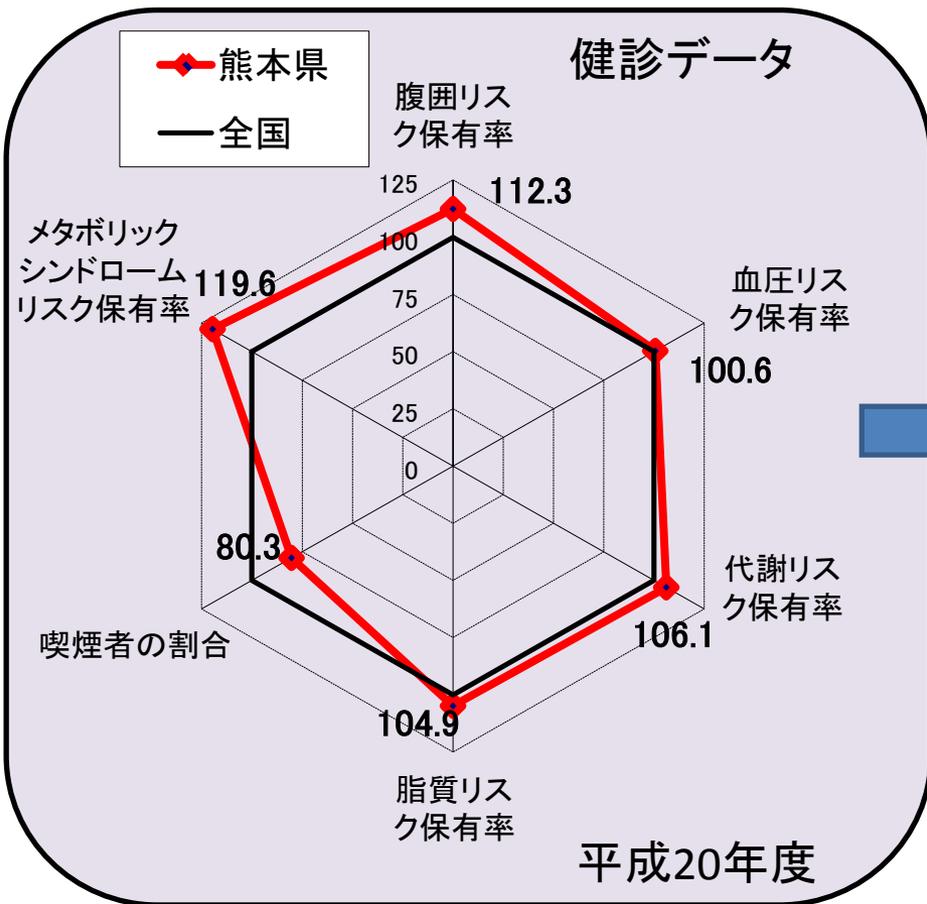
(平成18年度熊本県民健康栄養調査・平成18年国民健康栄養調査より)

健診データに関するレーダーチャート(男性)



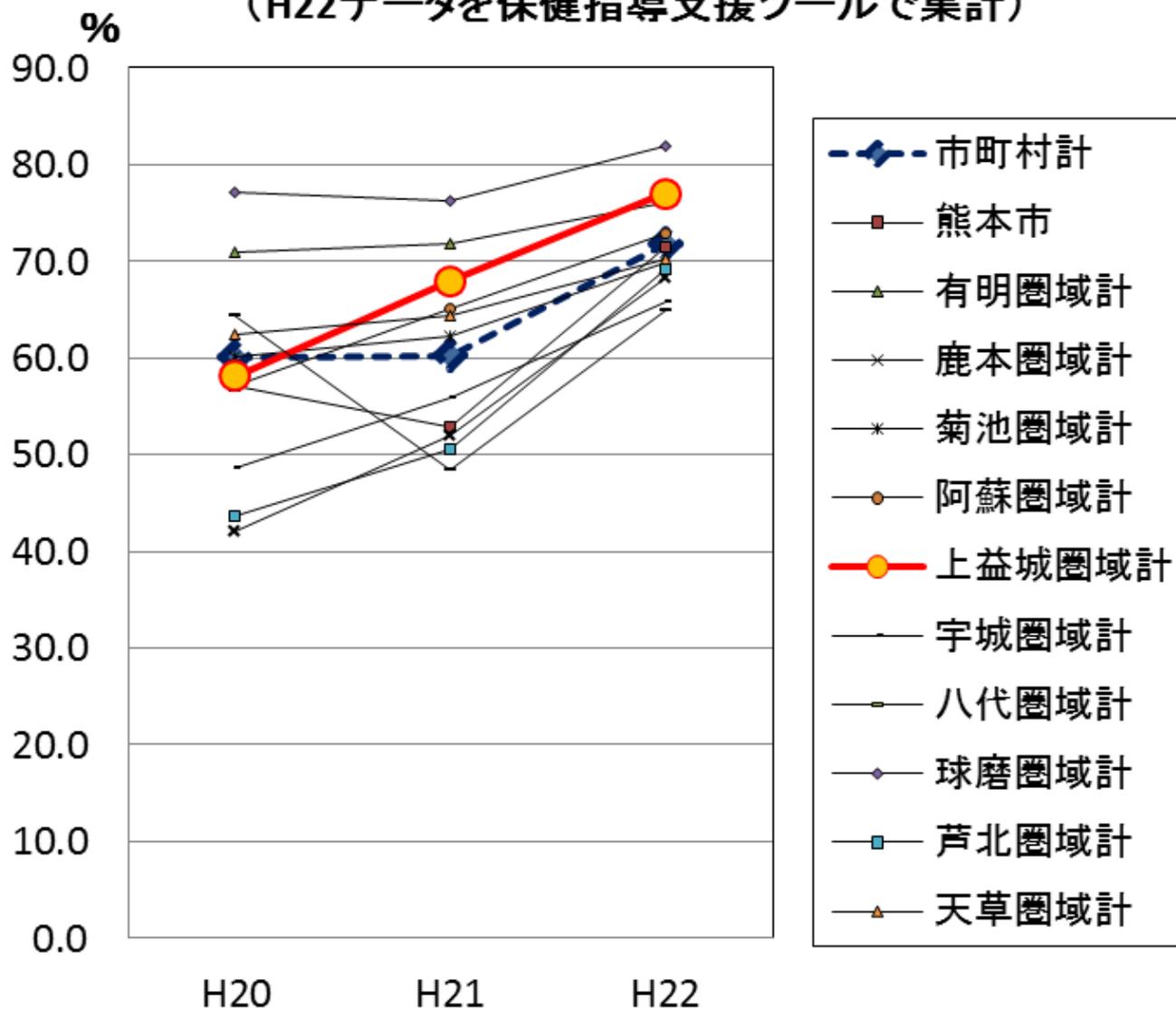
データ: 協会けんぽ一般健診、付加健診データ
平成20、21年度

健診データに関するレーダーチャート（女性）



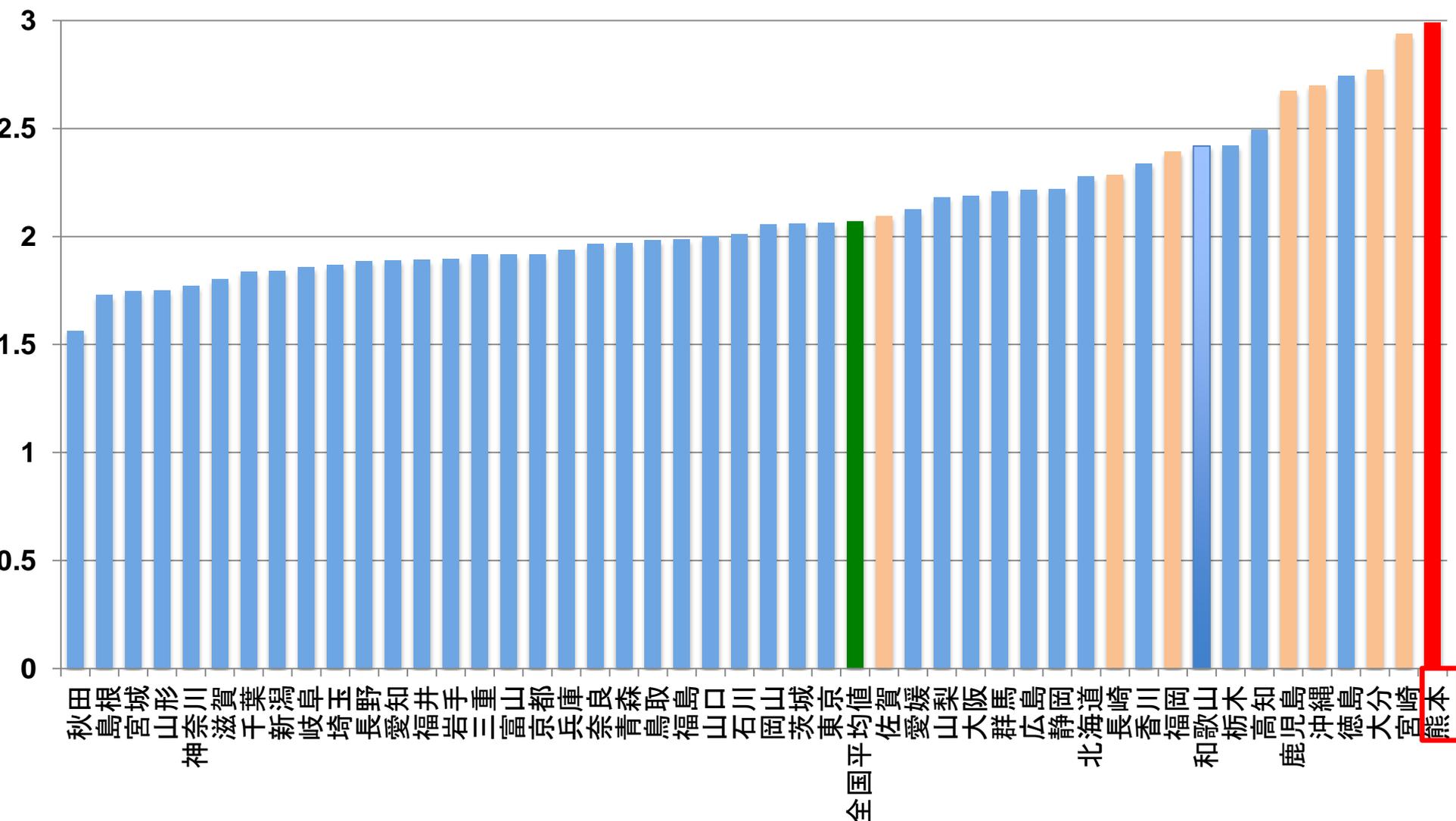
データ: 協会けんぽ一般健診、付加健診データ
平成20、21年度

HbA1c(JDS値)5.2%以上者の割合 (H22データを保健指導支援ツールで集計)



都道府県別透析患者人口比(千人比)

熊本県は透析患者の人口比率が高い



日本透析医学会 統計調査資料(2006年12月)および総務省統計局 都道府県別人口(2005年)より算出

健康づくりの支援体制～生活習慣病を中心として～



肥満傾向出現率10%超え:10,11,15歳
体力の低下

生活習慣病死因が6割占、医療費1/3

人工透析患者全国1位
子宮がん死亡率全国1位

平均寿命:男性79.22(10位)
女性86.54(3位)

ハイリスクアプローチ

専門的な支援

専門職の人材育成

公助

親子健やか生活習慣定着事業

親子のメタボリックシンドローム対策
親子ドック

メタボリックシンドロームに着目した
特定健診・保健指導

市町村健康増進事業

地域・職域連携推進事業

4疾病(がん、脳卒中、心筋梗塞、糖尿病)対策

・糖尿病等医療連携体制等
健康教育、保健指導、健康手帳
各種健診(がん、肝炎、歯周疾患、骨粗鬆症)

疾病の予防・早期発見

保健・医療との連携

介護予防

地域保健と職域保健との連携

子ども頃からの生活習慣の定着

共助

- ・バランスのよい食生活
- ・ウォーキング
- 生涯スポーツ
- ・禁煙・こころの健康
- ・歯の健康
- ・適正飲酒
- ・十分な休養

自助

健康づくりの住
民組織活動

普及
啓発

健康づくり
環境整備

食生活改善推進員活動
健康づくり推進員活動

ヘルシー外食・健康づくり応援店

ウォーキングロード等の整備

すこやか生活習慣くまもと県民運動(健康づくり県民会議)

健康づくりの気運の醸成

ポピュレーションアプローチ

動脈硬化

健康づくり・増進

メタボリックシンドローム

生活習慣病の発症
介護予防

合併症の発症
廃用症候群

重症化
要介護状態

糖尿病対策の取り組みの概要

糖尿病関連医療費の削減

健康寿命の延伸→元気高齢者の増加

働き盛りの健康向上→経済活動・生産性アップ

県民の生活の質の向上
超高齢社会の到来への対応

健康の保持の推進、医療の効率的な提供等の総合的な対策

生活習慣病対策

子ども頃からの適切な生活習慣の定着

発症予防

糖尿病の重症化・合併症予防

予防の重視

医療機関の機能分化

急性期から回復期・維持期までの医療機関の機能分担
脳卒中、糖尿病等地域連携パス(診療計画書)の推進

医療連携

普及啓発

糖尿病の正しい知識の普及
適正受診の啓発活動
医療保険者との連携

住民教育

環境の整備

食環境の整備
運動環境の整備

行動変容を支える環境整備

熊本県の現状

国民医療費:(☹高い方から)10位

平均在院日数(☹長い方から)6位

高齢化率の増加、糖尿病医療費の伸び顕著
人工透析導入率高値等

糖尿病予防・重症化阻止体制の促進について

熊本における 糖尿病学会開催

- ・子どもの頃からの生活習慣病予防、食育
- ・検診受診、受診後の保健指導
- ・通院患者および患者家族への糖尿病教育
- ・糖尿病予防食が提供できる店舗の拡大(ブルーサークルメニュー)
- ・糖尿病地域連携強化
- ・メディアを活用した情報の発信

効果

外食時にもカロリー制限、かつ適正なバランスの食事

家庭における健康を目指した食育および食事療法

検診受診率の上昇
治療中断の減少

糖尿病の重症化阻止
糖尿病合併症の発症阻止

運動量の増加および施設の充実

適正な医療連携と糖尿病専門医への紹介

糖尿病および生活習慣病の脅威・予防法・治療法を理解

成果

健康幸福寿命の延長
糖尿病発症の減少
糖尿病合併症の重症化阻止
失明者減少と透析導入患者減少

糖尿病対策における県型保健所の役割

- 人材の育成
- 普及啓発
- 関係機関間の総合調整

地域保健対策の推進に関する基本的な指針改正

1 ソーシャルキャピタルを活用した自助及び共助の支援の推進
地域のソーシャルキャピタルを活用し、住民による共助への支援を推進すること。

2 地域の特性をいかした保健と福祉の健康なまちづくりの推進
学校や企業などの地域の幅広い主体との連携を進め、住民との協働による健康なまちづくりを推進すること。

3 医療、介護及び福祉等の関連施策との連携強化
都道府県及び保健所は、管内の現状を踏まえ、医療、介護等のサービスの連携体制の強化に努めること。

ソーシャルキャピタルを活用した地域での成功の鍵

- 危機感を持ち地域でそれが共有できること
- さらにそれに対して、何か行動（アクション）を起こそうとする人たちが存在する
- 他地域での取り組み事例などを情報収集し、評価できる能力（目利き）を有すること
- それを自分たちの地域の問題に適応（カスタマイズ）する能力を有すること
- 活動を超えて他団体との連携や協力を取ることができること



笑顔倍増プロジェクト ～高血糖予防対策～

- 上益城地域振興局重点事業に位置づけ
平成25年度からの3年計画
⇒安定した予算の獲得
⇒局全体で取組む機運の醸成、局内の関係各課との円滑な連携（総務部、農政部、教育事務所等）
- 糖尿病対策に地域づくりの視点を盛り込む
- 地域の人材のフル活用

笑顔倍増プロジェクト ～高血糖予防対策～

- 平成25年度

熊本大学医学部代謝内科の監修を受け、地域の人材を活用し、「啓発ソング」の作成

- 平成26年度

地域の人材によるダンスの制作。インターネットに配信する等、地域への普及を本格稼働。ネット配信には、保育所、警察、消防の職員、障がい者施設の利用者等が参画。一部の保育所、学校等でも活動に取り入れている

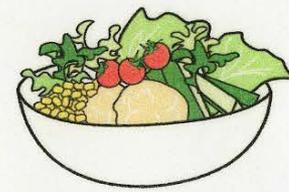
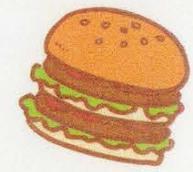
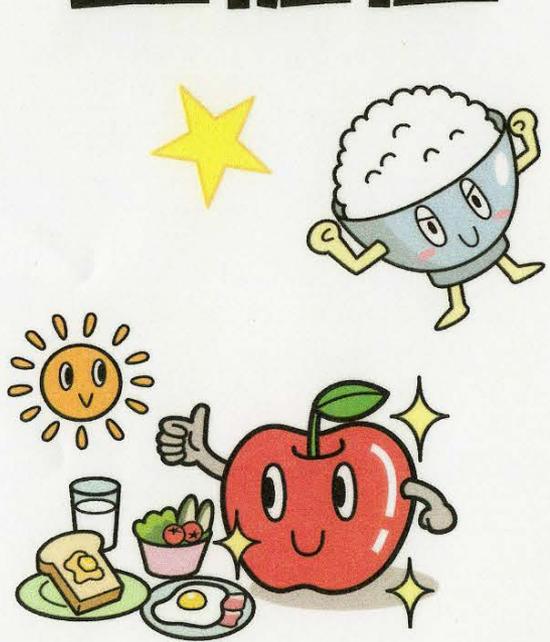
- 平成27年度

啓発ソングに込められた予防内容をDVD化した学習教材の開発

地産地消、地元食材を活用した糖尿病予防食（ブルーサークルメニュー）店舗の開拓

けっとうち
血糖値

なん
そいゃ何ですか？



くまもとけんみふねほけんしよ
熊本県御船保健所

えがおほいそうぷろじえくと
笑顔倍増プロジェクト

ダンスCD・DVD 「血糖値そりゃ何ですか？」

高血糖予防啓発

ダンス



CD:ソング
DVD:ダンス

- | | | | |
|---|-----|----------|----------|
| 1 | 血糖値 | そりゃ何ですか？ | プロモーション編 |
| 2 | 血糖値 | そりゃ何ですか？ | レッスン編 |
| 3 | 高血糖 | 知ってるかい？ | レッスン編 |



熊本県御船保健所

作成のポイント等

【歌】

- ・ 誰にでも （こどもから高齢者まで）
- ・ わかりやすく （専門用語を少なく）
- ・ 手軽に使える （短時間）
- ・ 基礎知識を入れる
（血糖値やHbA1cの単語 予防法等）

高血糖予防ソングの歌詞

H26年2月
リリース

「高血糖予防啓発ソング」を活用した健康づくり

～上益城地域の方々の健康と明るい暮らしを願います～



家族の健康笑顔
「笑顔」倍増プロジェクト



体育

じっとしていないで
歩きましょう♪



毎日350gの野菜
たっぷりとりましょう♪

とりすぎ、不足、注意して適
度な量を保ったら、こころも
身体もいい調子♪

食育

うす味、よく噛み、腹八分
で、ジュースはなるべくお茶
にして♪



血糖値 そいゃ何ですか？

血液中のブドウ糖の量ですよ

高血糖 そいゃ何ですか？

血液中に溜まりすぎのブドウ糖
こついう状態高血糖

みんなが高血糖を
無視すれば…

知育

脾臓さんもお手上げたー
いろんなところが傷ついて
気づかないうちにホーロホロ

高血糖を正常に
そいゃどうするの？

まずは健診うけましょう。
注意を受けたらすぐ受診
医師の言うこと聞きましょう。

ヘモグロビン エー ワン シー
5.6を超えないように！

チェックしましょう、健診で！
超えたら役場の保健師や、主
治医に相談しましょうね。



糖尿病対策における連携機関

上益城地域糖尿病保健医療連絡会議
医師会
 糖尿病専門医
 糖尿病連携医
歯科医師会
薬剤師会
看護協会
栄養士会
理学療法士会
保険者協議会
職域代表企業
熊本大学医学部代謝内科学分野
管内町のヘルス部門
保健所



上益城地域健康食生活・食育推進会議
学校保健会
学校保健主事会
養護教諭部会
学校給食会
保育協会
JA
食生活改善推進員
栄養士会
管内町のヘルス部門
地域振興局農政部局
保健所

糖尿病連携医とは

熊本県糖尿病対策推進会議が認定する制度。地域における糖尿病診療の第一線機関として、1境界型への対応および軽症の糖尿病患者の管理 2特定健診等で、「医療機関受診」を勧められた患者への定期的なフォローアップ。
3 専門医療機関や歯科医療機関、市町村等と連携による地域の糖尿病診療レベルの向上につながるネットワークの中心的役割を担う。

糖尿病対策における調整機能

上益城地域糖尿病保健医療連絡会議

- ・ 病病連携、病診連携
- ・ 糖尿病連携パス（DM熊友パス）
- ・ 医療機関と医療保険者との連携
- ・ 住民向けフォーラムの検討
- ・ 専門職の育成の検討

糖尿病保健医療
体制の検討

連携

上益城地域健康食生活・食育推進会議

- 学校保健会
- 学校保健主事会
- 養護教諭部会
- 学校給食会
- 保育協会
- JA
- 食生活改善推進員
- 栄養士会
- 管内町のヘルス部門
- 地域振興局農政部局
- 保健所

食の環境整備
子どもたちへの食育
地産地消

糖尿病対策をキーワード

- 啓発ソング、啓発ダンス
学校教材の開発
- 糖尿病予防外食店舗の開拓
⇒地元の食材を活用、地域振興
- 前述の取組みが融合した市民
フォーラムの開催
⇒フォーラム宣言

上益城地域学校保健会のこの頃の動き

- 学校長会において、啓発ソングに込められた予防のキーワードについて研修の要請
- 同会において、糖尿病啓発ソングの予防キーワードに関する学校教材の開発の依頼を受ける。
- 給食時間に啓発ソングを流す学校増 など

今後の政策的な課題

- ・ 2025年問題：75歳以上人口増
他病、多死
⇒医療と介護の連携
医療費・介護負担費の増
予防の重視
- ・ 少子化、人口減少社会
⇒母子保健、子育て支援、地域
づくり

地域コーディネートによる見える化

- ・ 主要計画や部局の主要事業に位置付け

⇒ 企画、予算の獲得

- ・ 課題の明確化

- ・ 関係者との課題や方向性の共有

- ・ 地域の多様な人材の確保

⇒ 地域に根付いた事業の展開

- ・ 情報発信